営農技術情報

発行　令和５年８月４日
第１１号
たいせつ農業協同組合
営農部　農産販売課
本所　営農センター　57-2357
支所　営農センター　87-4111

現時点で稲の生育進度は平年に比べ３日程早い見込みとなっております。また、当地区のアカヒゲホソミドリカスミカメの発生が多くなっておりますが、北海道病害虫防除所の情報では、発生量は平年に比べ「並」となっております。

また、札幌管区気象台の１か月予報でも、８月上旬の気温はかなり高くなると予報されており、今後の降雨の状況にもよりますが、病害虫被害が懸念されます。３回目の防除（カメムシ防除）を申し込んでいない方もご検討して頂き、希望される方は各営農センターへご相談ください。

◇本田防除実施期間≪３回目≫
◎カメムシ防除

8月6日（日）～ 8月12日（土）

□少量散布管理ビークル（25ℓ散布）
キラップフロアブル　　50ml／10a（500 倍液）

◇農薬のドリフト(飛散)には十分注意して下さい！

ハウス野菜周辺などではハウスが閉じている早朝もしくは夕方に実施し、防除前には生産者間で必ず「声掛け」を行いましょう。
※天候によって日程がずれ込むこともありますので、予めご了承ください。

登熟期後半の水管理

◇落水時期と乳白・腹白米発生の関連性

落水が遅れるとほ場が十分乾燥せずに収穫作業に影響が出てしまいますが、逆に落水が早すぎると登熟に必要な土壌内水分が不足し、品質低下の原因となります。

出穂期以降に土壌でヒビ割れを起こすと乳白・腹白の発生を助長する可能性がありますので、天候や各ほ場の保水力に合わせて落水時期を検討しましょう。

土壌の乾きすぎには十分注意しこまめに走水を行いましょう。

（１）落水時期の目安
・排水良好田→出穂後 25 日目頃（穂かがみ期）に落水
・排水不良田→出穂後７日目頃に落水
（２）土壌水分の目安

土壌の状態	収量への影響	品質への影響
深く大きい亀裂・根の切断を確認可能	不適	不適
幅１㎝程の亀裂多数・足跡がつかない程度	普通	不適
１㎝以内の亀裂・わずかに足跡がつく程度	良好	良好